



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋 1 9 6 3

(株)エホ・リレーション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net

<https://3c-mie.net/>



近年、口を開けば、人口減少・少子高齢化、人材不足、物価高、デジタル化・AIの進化など私たちを取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

こうした中、いろいろな組織、団体からウェルビーイングという言葉が発信されています。これは心身の健康と社会的に満たされた状態にあることとされています。

今回は、そうした取り組みを会社の内外に向けて実践させている株式会社スズカ未来の経営企画部長 松尾一次 様にご投稿をいただきました。

当社は、食品関連の資材商品の製造販売だけでなく食品検査やあらゆる顧客サポートを手掛けられていますが、これまで「三重県おもてなし経営企業選」受賞、三重県ユニセフ活動に参画、三重県 SDGs推進セミナーへの登壇など多くの取り組みが評価され紹介されています。

株式会社スズカ未来のウェルビーイングの取り組みについて



経営企画部長 松尾一次 氏

「三方よし」のフードロス対策

スズカ未来では、四日市市で子ども食堂を開催されている「みんなこ」と、スズカ未来の物流センター「TSUNAGU」で出た缶詰の破損品の無償提供をさせていただき、契約を結んでいます。

流通の間に破損品となったものは、赤伝処理(廃棄)していました。

以前から、子供食堂の取り組みをされていた「みんなこ」さんは知っておりましたので、「みんなこ」さんに缶詰の破損品を子ども食堂で無償提供させていただくので、利用してもらえないかと相談したところ、快く応諾して頂き、不定期ですが提供させていただいております。



「みんなこ」さんは、四日市市の四日市キリスト協会を第三月曜日に借りて、地域の 3 歳から中学 3 年生までの子供たちに 300 円で夕食を提供する子ども食堂です。毎回 80 名前後が参加します。「孤食」を無くす意味で、子供たちも喜んで参加しています。

スズカ未来で取り扱う缶詰は業務用ばかりで、個人宅で食べるには、量が多すぎて、廃棄するしかなかったのです。

一方「TSUNAGU」にとっては、有料で「中身」と「水分」と「空き缶」を分離して廃棄していたものが、「みんなこ」さんの子供食堂で食べてもらうことで、フードロス対策・社会貢献・経費削減と、いいことしかありません。

地方自治体にとっても、生ごみの削減効果が見られることより、「みんなこ」「TSUNAGU」「地方自治体」とこれぞ「三方よし」のフードロス対策だと、考えています。



「健康経営優良法人 2026」



スズカ未来公式キャラクター「スー」

従業員の健康管理を、経営的な視点で考え、戦略的に取り組む企業や法人を「日本健康会議」「経済産業省」が認定する制度で弊社が認定を受けました。その中の 2 つを紹介したいと思います。

★SUZUKA K1(禁煙) グランプリ

今、健康のトレンドは「睡眠」「禁煙」「更年期」と考えています。そこでそれらを全社員参加で取り組めないかと考え、次のプランを考えました。弊社の本社隣では毎年春に「SUZUKA F1 グランプリ」が開催され、全世界からファンが多数押し寄せ鈴鹿の街は、大騒ぎになります。それをばくって「SUZUKA K1 グランプリ」を開催し全社員参加型の「禁煙」の推進と「睡眠」の質を向上する取り組みをしようという事になりました。

しかもあまり経費をかけず、楽しくできるプランにしようと計画しました。



「カー」



「ズー」

まず、「禁煙」をやってみたいと思う社員を公募で募集します。
 今回 5 名の勇気ある、戦士が応募してくれました。
 次に 5 名の戦士に、意気込み・喫煙歴・本数・過去のチャレンジ歴を
 書いてもらい、AI に達成率を出してもらいました。
 次に全社員に、推しの戦士に投票してもらい、6 月から 8 月の 3 か
 月間禁煙達成した戦士には「安眠枕」、達成した戦士を推した社員
 全員に「安眠スプレー」「安眠アイマスク」をプレゼントする企画です。
 結果はというと戦士 5 名中 4 名が達成し、約 200 名がプレゼント
 をもらえる結果となりました。まずまずの結果だと思います。
 来年は「SUZUKA M1(メタボ) グランプリ」を開催したいと考えて
 います。

★「YASUMO」と「ねよっと」



弊社は来年 80 周年を迎える、
 専門商社になります。スズカグルー
 プの経営理念に過去より「イキイキ
 のびのびあふれる会社づくり」を掲
 げています。
 つまり、生産性を上げるには、社員
 がイキイキのびのび働いてくれるこ
 とが生産性を上げる一番の近道な
 のです。



先ほど「睡眠」がトレンドの話をしました、営業職なら、車で移動中とか電車で移動中
 とか「休憩」を取ることは可能ですが、管理部門は、終日パソコンと向き合う日々であり、な
 かなか「休憩」を取る事が出来ません。そこで弊社では本社 3 階に「YASUMO」4 台のハ
 ンモックと「ねよっと」4 台のリクライニングチェアを設置し、お昼休憩に利用してもらって
 います。
 一人だと使いづらいが、8 人だと気兼ねなく利用できます。
 午後からのひと頑張りに役立っています。



さまざまなお取り組みを紹介いただきましたが、これらのほかにも松尾部長は、採用
 面接にみえた学生達を対象に、ほかの会社の面接に行ったときの判断の参考にして、
 これからの就活を失敗しないように「昭和のおじさん就活無頼塾」を開き、リーダ
 ー論や社長・部長の落とし穴などユニークな講義をされています。

トピックス

先月は、JAみえなかアカデミーの第2回講座が開講されました。
 三重県立看護大学の森下直樹先生に「地域とエネルギーを考える」というテーマで講義を
 いただきました。
 この講座は、当社団がマッチングして、アラカルトのテーマで来年3月まで続きます。

